

⑦ 森林・山村多面的機能発揮対策

広葉樹林の天然更新と森林の多面的機能の維持

取組成果

- ◆ 広葉樹林におけるチシマザサの刈払いにより、広葉樹の実生苗が育ちやすい環境が整備され、多様な広葉樹が更新可能となった。
- ◆ チシマザサの刈払いの結果、里山景観が保全されることによる地区の魅力向上や、野生鳥獣の隠れ場所が少なくなることによる獣害対策にも繋がっている。

事業概要

- ◆ 活動地域: 岐阜県高山市
- ◆ 実施主体: 二本木生産森林組合
- ◆ 活動実施年度: 平成28年度～令和4年度

取組のポイント

- ◆ 飛騨地域には落葉広葉樹を主体とする天然林が広く分布。生産される広葉樹材は家具・木工や建築資材となり、地域産業を支えてきたが、伐採による資源の減少や伐採後のチシマザサの繁茂による多面的機能の低下が懸念。
- ◆ そのため、本交付金を活用して、チシマザサの刈払い等を行うことにより、地域の代表的な樹種で構成される広葉樹林の林床に光が入り実生苗が育ちやすい環境を整備。

取組内容

- ◆ ササが繁茂すると、広葉樹の更新が進まず、保水力等、森林が持つ多面的な機能の低下が懸念されるため、広葉樹伐採後の更新が効率的・効果的に行われるよう、約40haの広葉樹林においてササ刈りを実施。
- ◆ 県農林事務所と合同で定期観察を継続して実施しているほか、隣接する森を広葉樹母樹林とすることで、実生が発生しやすい環境づくりを行っている。



【ササの刈払いを実施】



【刈払い後】



【明るくなった林床に見られる多様な樹種の稚樹】